

政策整理番号 10

評価シート(A)

対象年度	H16	作成部課室	環境生活部自然保護課	関係部課室	土木部都市計画課, 産業経済部 森林整備課
------	-----	-------	------------	-------	--------------------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系: 規則 § 6 1号関連

政策番号	1-3-3	政策名	豊かな自然環境の保全・創造
------	-------	-----	---------------

政策概要	多くの生物が生息している森林、河川、湖沼など多様で豊かな自然環境を保全し、かけがえのない財産として次代に継承するとともに、人と自然との豊かなふれあいの場を創出していくことを目指します。
------	--

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標
1	自然公園等の優れた自然環境の保全 優れた自然環境を将来の世代に引き継ぐため、自然公園や県自然環境保全地域などに指定された地域を守り、保全します。	・自然環境が保護されている地域の割合
2	身近な緑の保全・再生・創造 潤いのあるみどり豊かな県土の創造を図るため、都市化の進展などにより減少する傾向にある緑を守り、増やすことを目指します。	
3	景観・歴史的環境の保全 優れた景観や歴史的環境を保全して、次代に継承します。	
4	野生動植物の保護 野生動植物の多様性によって健全な生態系が維持されていることを踏まえ、多様な動植物を保護し、その生息、生育環境を守ることを目指します。	
5	森林の適正な管理 水資源のかん養や土砂の流出による自然災害の防止、二酸化炭素の吸収など、森林の持つ様々な働きを高度に、かつ、持続的に発揮させるため、健全な森林の育成を目指します。	・民有林の人工林間伐実行面積割合
6	自然とふれあう場や機会の提供 自然に対する理解を深め、自然保護の意識をはぐむため、自然とのふれあいの機会の充実、拡大を目指します。	・みどりとふれあえる空間の面積(森林公園等の面積)

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移: 規則 § 6 1号関連

(単位: 点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	74	75	70	73	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	14 【中】	15 【中】	10 【中】	13 【中】	

かい離: 極めて高い(40点以上), 非常に高い(30点以上~40点未満), 高い(20点以上~30点未満), 中(10点以上~20点未満), 低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性: 規則 § 6 1号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 概ね適切 ・各施策の概要は上記記載のとおりであり、政策を実現するため、6施策全てが必要と認められる。なお、景観・歴史的環境の保全は、優れた景観や歴史的環境を保全することにより、自然環境と一体となった豊かな環境を創出するものである。</p> <p>【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・施策間における重複や矛盾する点はない。</p> <p>A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・県民満足度は60点と過去4回変動はないものの、重視度は前回に比べ3ポイント上がり、かい離度が上昇した。個別の施策においても3施策において、かい離が20~30点と高くなっており、2施策が前年より5~10ポイント上昇している。これは、本政策に対する県民の関心の高まりと考えられ、必要性が高いものと判断する。 ・森林の持つ二酸化炭素吸収源としての機能や身近な緑の保全や再生は、地球温暖化対策に直接、効果を発揮するものであり、対策における重要な位置付けがなされている。 ・豊かな緑や優れた景観など、優れた自然環境は我々の暮らしに潤いと安らぎをもたらすものであり、こうした環境に着目した「自然と共生する社会」を実現しようとする動きは世界的に大きな潮流となっている。また、このような自然環境の保全、創造への取り組みは、従来の行政の枠組みだけではなくNPO団体や市民が参加あるいは協働して目的を達成しようとする動きが顕著化している。</p>
--

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度 (直近の3回)	県民が必要と感じているか()			
1	第4回	18.6%	3位	・本施策の優先度は6施策中3位である。 ・本施策のかい離は20点と高い。 【結論】 必要性:ある程度感じている	中
	第3回	19.6%	3位		
	第2回	19.5%	2位		
2		32.9%	1位	・本施策の優先度は6施策中1位である。 ・本施策のかい離は15点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	大
		32.9%	1位		
		31.1%	1位		
3		7.7%	5位	・本施策の優先度は6施策中5位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:あまり感じてない	中
		8.2%	5位		
		8.3%	6位		
4		7.1%	6位	・本施策の優先度は6施策中6位である。 ・本施策のかい離は21点と高い。 【結論】 必要性:比較的感じていない	中
		7.9%	6位		
		8.8%	5位		
5		20.3%	2位	・本施策の優先度は6施策中2位である。 ・本施策のかい離は30点と非常に高い。 【結論】 必要性:非常に感じている	大
		20.1%	2位		
		18.6%	3位		
6		12.8%	4位	・本施策の優先度は6施策中4位である。 ・本施策のかい離は15点と中程度である。 【結論】 必要性:比較的感じていない	中
		10.5%	4位		
		12.9%	4位		

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 **概ね適切** 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】概ね適切
 ・3指標のうち、3指標とも存続であり、今後も継続する。「政策評価指標分析カード」から

【重視すべき施策に指標が設定されているか】概ね適切
 ・かい離度の高い施策や優先度・重視度の高い3施策に指標が設定されている。
 施策1(かい離20点, 優先度3位, 重視度80点) 施策5(かい離30点, 優先度2位, 重視度80) 施策6(かい離15点, 優先度4位, 重視度70点)
 ・なお、施策2は優先度が高く、必要性も高い施策になっていることから、今後、取組について検討を進める。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 **概ね有効** 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視 点	政策全体	施策1	施策5	施策6			
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	有効	概ね有効			
県民満足度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			
全 体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効			

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 **概ね適切** 課題有

・当該政策に関し、施策群設定の妥当性(A-1)、政策評価指標群の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果、「概ね適切」と判断する。

対象年度 H16

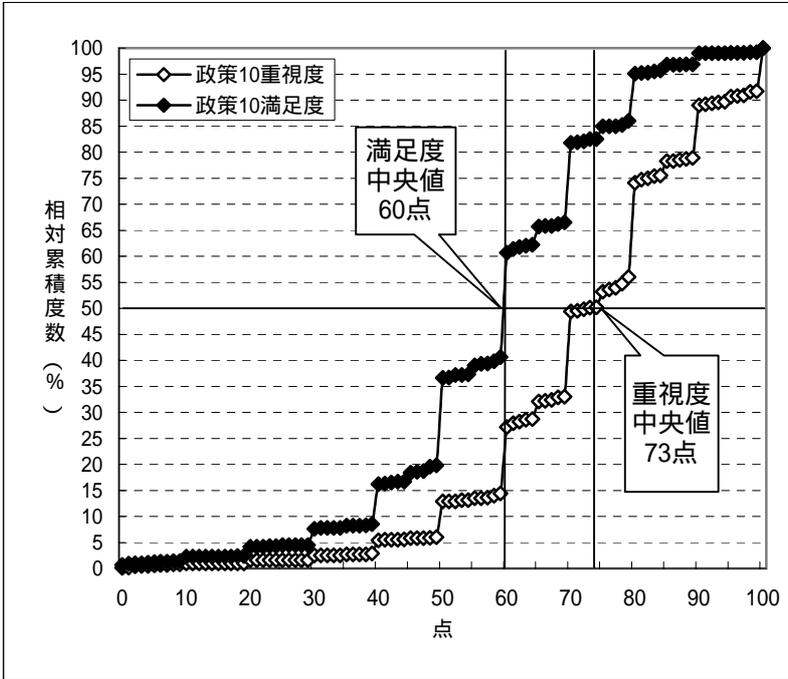
政策番号 1-3-3

政策名 豊かな自然環境の保全・創造

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 67.9

高認知度 58.8



高関心度
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

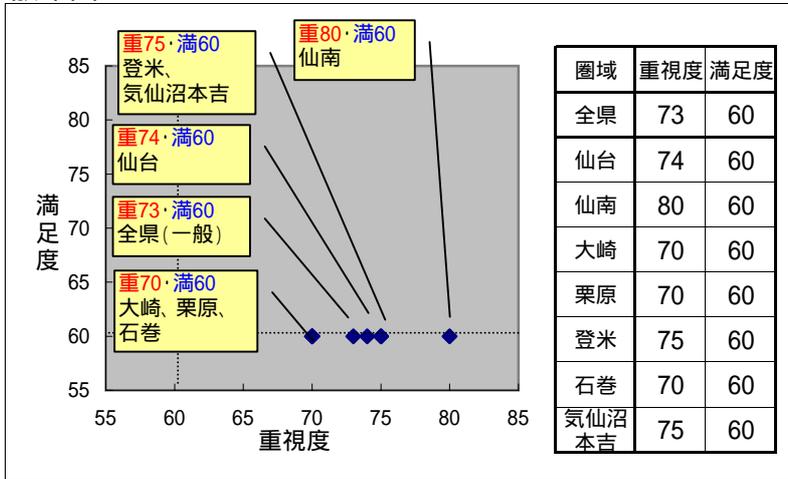
高認知度
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	73	75	80	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	50
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

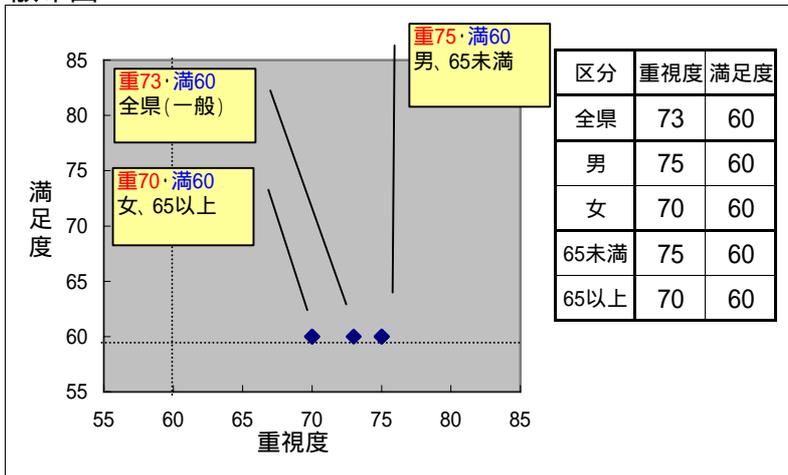
圏域別中央値(一般, 市町村のみ)						
圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	73	75	80	60	60	60
仙台	74	75	-	60	60	-
仙南	80	75	-	60	60	-
大崎	70	70	-	60	60	-
栗原	70	73	-	60	60	-
登米	75	80	-	60	60	-
石巻	70	70	-	60	60	-
気仙沼本吉	75	80	-	60	60	-

男女別・年代別中央値(一般のみ)						
区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	73	75	80	60	60	60
男	75	-	-	60	-	-
女	70	-	-	60	-	-
65未満	75	-	-	60	-	-
65以上	70	-	-	60	-	-

散布図



散布図



対象年度 H16

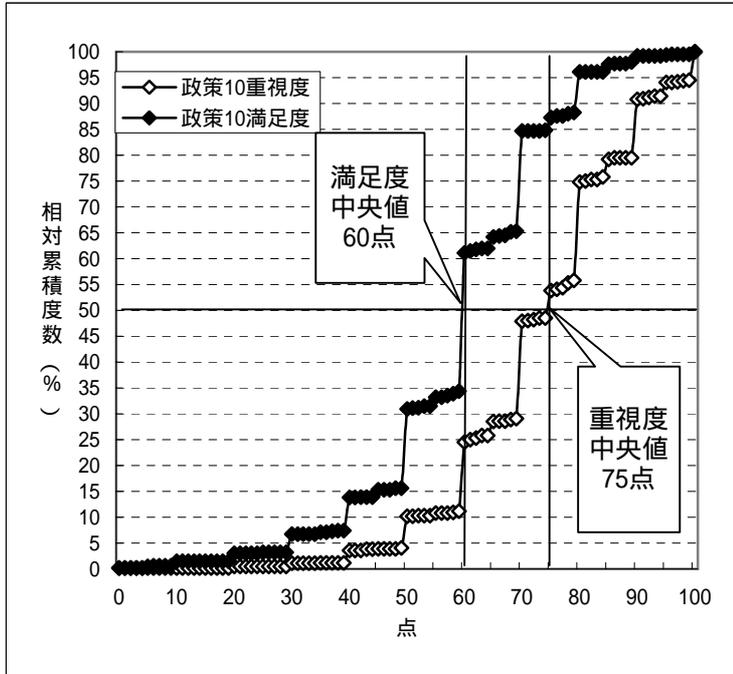
政策番号 1-3-3

政策名 豊かな自然環境の保全・創造

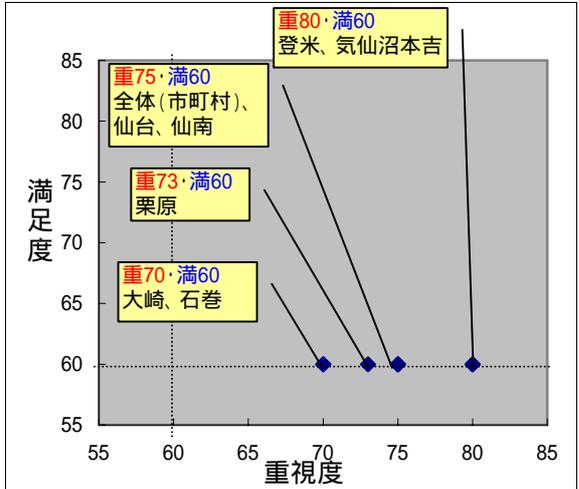
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 76.3

高認知度 74.1



散布図

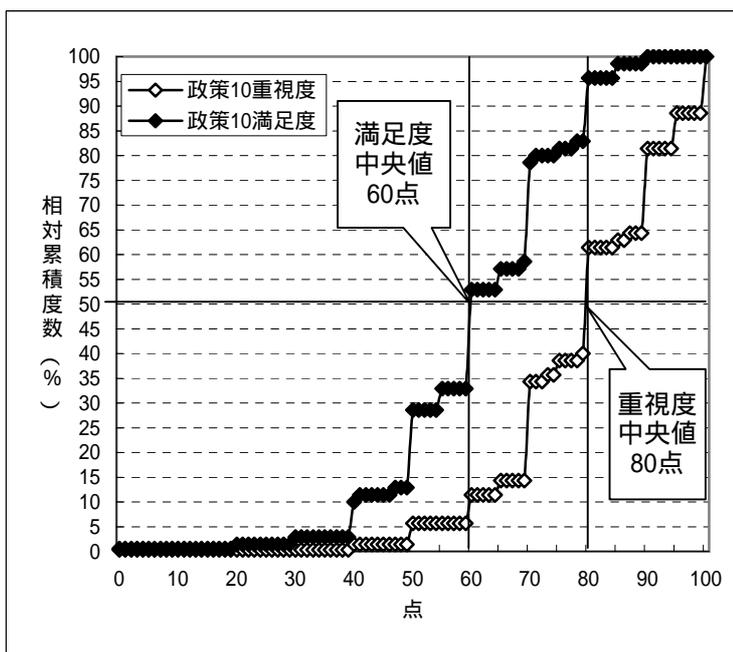


圏域	重視度	満足度	圏域	重視度	満足度
全体(市町村)	75	60	栗原	73	60
仙台	75	60	登米	80	60
仙南	75	60	石巻	70	60
大崎	70	60	気仙沼本吉	80	60

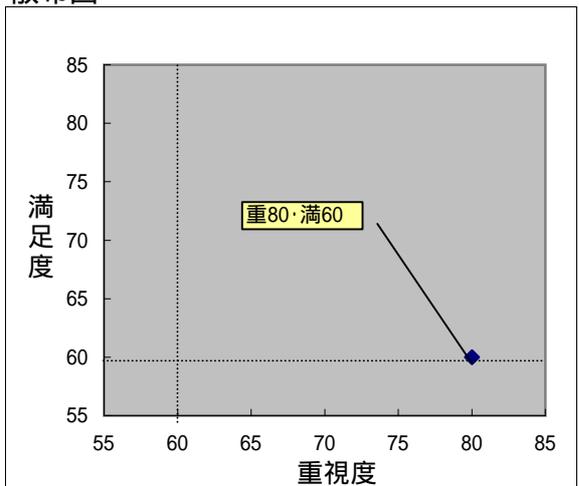
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 85.7

高認知度 81.5



散布図



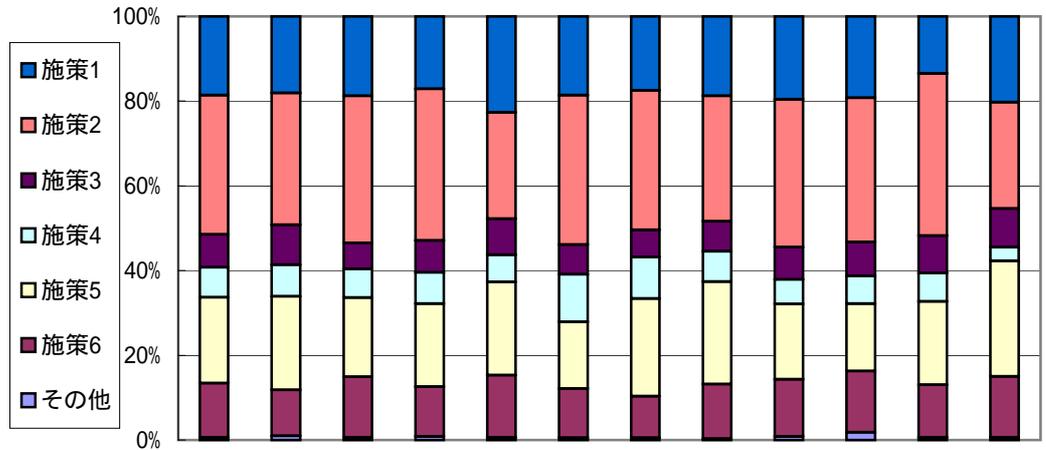
	重視度	満足度
全体(学識者)	80	60

対象年度 H16

政策番号 1-3-3

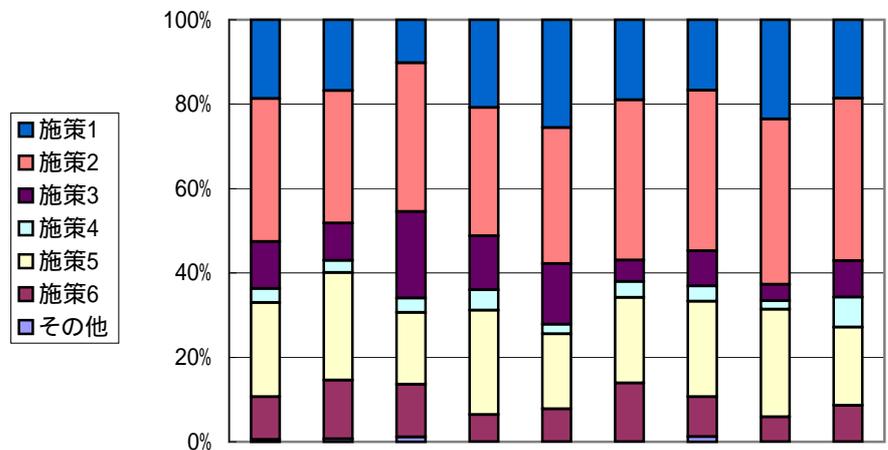
政策名 豊かな自然環境の保全・創造

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉
1	自然公園等の優れた自然環境の保全	18.6	18.1	18.8	17.1	22.7	18.6	17.5	18.8	19.6	19.2	13.5	20.3
2	身近な緑の保全・再生・創造	32.9	31.1	34.7	35.8	25.1	35.3	32.9	29.6	34.9	34.1	38.3	25.1
3	景観・歴史的環境の保全	7.7	9.4	6.1	7.5	8.5	7.0	6.4	7.1	7.6	8.0	8.8	9.1
4	野生動植物の保護	7.1	7.5	6.8	7.4	6.4	11.2	9.8	7.1	5.8	6.5	6.7	3.2
5	森林の適正な管理	20.3	22.1	18.7	19.6	22.0	15.8	23.1	24.2	17.8	15.9	19.7	27.3
6	自然とふれあう場や機会の提供	12.8	10.8	14.3	11.8	14.7	11.6	9.8	12.9	13.5	14.5	12.4	14.4
	その他	0.6	1.0	0.6	0.8	0.6	0.5	0.5	0.3	0.8	1.8	0.6	0.6

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	
1	自然公園等の優れた自然環境の保全	18.7	16.8	10.2	20.8	25.6	19.0	16.7	23.5	18.6
2	身近な緑の保全・再生・創造	33.9	31.4	35.2	30.4	32.2	38.0	38.1	39.2	38.6
3	景観・歴史的環境の保全	11.1	8.8	20.5	12.8	14.4	5.1	8.3	3.9	8.6
4	野生動植物の保護	3.3	2.9	3.4	4.8	2.2	3.8	3.6	2.0	7.1
5	森林の適正な管理	22.3	25.5	17.0	24.8	17.8	20.3	22.6	25.5	18.6
6	自然とふれあう場や機会の提供	10.2	13.9	12.5	6.4	7.8	13.9	9.5	5.9	8.6
	その他	0.5	0.7	1.1	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0